

# 感染防止のための正しい知識の取得の向上を目指した e-learning システムの構築に関する研究

研究分担者 江口有一郎 佐賀大学医学部附属病院 肝疾患センター 特任教授

## 研究要旨

【背景】厚生労働省研究班で作成した感染対策ガイドライン（一般生活者向け・保育施設勤務者向け・老人保健施設勤務者向け）について、利用者が学びやすい環境を構築し、肝炎ウイルスの感染防止に関する正しい知識を普及することが大切である。【方法】班員の協力のもと、「一般生活者」「老人施設関係者」に対するガイドラインについて、パワーポイントスライドおよび音声ガイドからなる動画コンテンツを作成した。構成は、基礎知識の解説および巻末に知識の取得状況を把握するための確認テストを盛り込んだ。【結果】約 5 分で感染防止に関する基礎知識を学習できる動画コンテンツを作成し、web に掲載した。【結語】。今後は作成した e-learning システムの利用促進を図り、システムの利用状況や利用者の知識習得状況等を解析し、正しい知識の普及を促進していく予定である。

## A. 研究目的

本研究班の代表者が 2012 年度から 2014 年度まで主任研究者を務めた“集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究班”では一般生活者・保育関係者・老人施設関係者に対するガイドラインが作成されている。このガイドラインは厚生労働省・肝炎情報センターのウェブサイトに掲載され、活用されていることが期待されるが、その利用状況や知識の取得状況などは明らかになっていない。本研究では、利用者が学びやすい環境を構築し、肝炎ウイルスの感染防止に関する正しい知識を普及することを目的とし、ガイドライン毎の対象者にとって、ガイドラインの内容を学びやすい e-learning システムを構築し対象者への普及を図る。その上で、システムの利用状況や利用者の知識習得度に関する情報を収集・解析し、必要な課題の解決を図るなど、対象者の知識取得率向上のための取り組みを行うことを目的としている。

そのため今年度はまず e-learning システムを構築する。

## B. 研究方法

班員（四柳宏研究代表者・磯田広史研究協力者）の協力のもと、ガイドラインに書かれた内容をもとに「一般生活者」「老人施設関係者」に対するガイドラインについて、e-learning コンテンツ案を作成した。研究班の班会議で開示し、班員からの意見を踏まえコンテンツを完成させた。

## C. 研究結果

作成した e-learning コンテンツを次に示す（図 1：一般生活者、図 2：老人施設関係者、図 3：共通の項目、図 4：確認テスト）。それぞれの e-learning コンテンツは、情報を教示する内容とナレーションで構成され、それぞれの内容に関する確認テストが最後に行われる。また、e-learning の内容は更新可能なシステムで運用されており、確認テストも内容の更新が可能である。また、受講者の属性や正答率をモニタリングすることにより、e-learning のコンテンツの更新へ反映させることができる様にシステムを構築した。



